

地方自治体において、行政経営改革を具体的にどう進めればよいか。また、バリアになっていることは何か。(自由回答一部抜粋)

住民と行政の意見交換。
行政からの情報発信。

市職員の意識改革と
政策立案の成功体験

地方公務員を職業として選択する際、身分保障を最優先にしている人も多い。そういう人と本気で地方に尽くしたい職員は差別化して評価、および配置できる体制になれば。

行政が全てを賄うというモデルから、NPOなどを活用し、自立することが必要だと思います。

地方の縦割りを解消できる戦略本部の設置は絶対に必要。今日の皆さんのような熱い職員が少ないことが障害。変わらないことが良いことだと思っている人が多い。

省庁間の人材の柔軟な流動化。民間採用。政治改革(首相任期の安定化)。官庁の戦前から継続するシステムとメンタリティ(日本人)がバリアでしょうか、、、。

まず霞が関からの権限を地方に委譲することだと思います。中央官庁しかできないと思っていることが問題。

評価すべき事項の明確化(予算を新たに獲得する事ではなく、住民ニーズに合った事業の提供、事務改善等。)→その軸に合った評価制度導入。バリアは職員の意識。

まずは国と地方の行政組織の人事交流を。

中央が地方のことをあまり知らないことが問題だと思う。なので地方の側からも中央は離れていると思ってしまう。